

# 学校法人 専修大学

# 12年度事業計画・予算

2012年度学校法人専修大学の事業計画は、11年12月14日に開催された理事会・評議員会において承認され、それに基づき編成された予算は、3月28日開催の理事会・評議員会で承認された。

## 事業計画の策定にあたり

## 教育の質の向上を図る

## 被災学生・地域支援に重点

学校法人専修大学は、「社会性・知性の開発」を更に力強く推し進めるべく、教育研究力の強化、学生支援の充実、知の発信及び社会地域貢献の推進、そして、東日本大震災に伴う学生や地域等への支援に重きを置き、2012年度事業計画を策定しました。

強化にあたっては、総務省「教育の質の向上」を提言し、さらに今後の神田キャンパスと田原キャンパスの両キャンパスを深めていきます。石巻専修大学は、13年度に予定している新学部設置及び理工学部の改組に係る設置準備を進めます。教育の質保証に向けた取り組みとしては、厳格な成績評価の徹底を図るために、11年度に試験運用を行ったGPA制度を本格導入します。また、教育のみならず就職支援をはじめとした学生支援体制、施設設備、課外活動等について、総合的な「キャンパス構想検討会議」を設置しました。同会議は、キャンパス整備における喫緊の課題の解決策を打ち出し、社会的評価を高めるため、

価値や知名度・期待度の向上に努めます。大学の特色のひとつである地域貢献については、産学連携事業として、研究開発、技術相談、経営相談等を推進し、地域活性化と産業振興に努めるほか、積極的な「知の発信」を進めるために、サテライトキャンパス企画や石巻専修大学開校講座等に注力します。激震地であった石巻専修大学は、「復興共生プロジェクト」を立ち上げ、地元自治体、企業、地域と連携し、最前線での復興に取り組んでいます。専修大学においても石巻専修大学とともに、学費減免特別措置等の被災者支援に尽力しているところです。これまで多数の難局を克服してきた本学の底力により、このたびの震災の悲しみを乗り越え、オール専修の力をもち、日本社会の復興に寄与する所存です。

と、地元自治体企業、地域と連携し、復興に取り組んでいる。12年度においても、地域復興のセンターとして、被災地の最前線で諸活動を展開する。

【専修大学】  
1. 学部に関すること  
(1) 法学部(法律学科・政治学科) 全授業の神田キャンパス開講  
法学部の全授業を12年度から神田キャンパスで展開する。法学部一部の学生は、これまで1年次は生田キャンパスに、2年次からは神田キャンパスに通学していたが、同学部全学年の学生が、神田キャンパスで授業を受けることとなる。この取り組みにより、導入教育の強化と、大学院法学研究科及び法科大学院を含む本学の法学教育機能の集約による教育環境の一層の充実が期待できる。

【専修大学】  
2. 大学院に関すること  
大学院教育の改革推進  
「第2次大学院教育振興施策要綱」(11年8月5日文科省大臣決定)において具体的な施策として示された①学位プログラムに基づく大学院教育の確立、②新たな社会の創造・成長を牽引する博士の養成、③社会との対話と連携による教育の充実と、学生が将来への見通しを持てる環境の構築、④大学院教育のグローバル化の促進について、大学院委員会及び大学院改革検討委員会を中心に検討を進め、大学院教育の一層の充実を図る。

【専修大学】  
3. 法科大学院に関すること  
法科大学院教育の質向上に向けた改善の推進  
入学者の質と多様性を確保するため、入学試験の日程の変更や実施回数の増加、書類審査内容の変更、入試広報の媒体や方法の変更など、入学試験に係る改革を推進する。あわせて、修了者の質の保証及び司法試験合格者の増加を図るために、各年次における各授業科目の目標・到達レベル(到達目標)を設定し、学生の能力を段階的に引き上げる制度を導入する。修了生については、本学を修了した司法試験合格者による受験対策指導を実施する。また、12年度は、教育課程を継続実施する。主な事業は、キャンパスコミュニケーション

効果をも、本学オリジナルの就職支援の強化  
2. 就職支援の強化  
就職模範試験の実施回数増強、首都圏就職支援パスツアーの実施、合同企業説明会の拡充、専修大学との科目目を指し、準備を進める。  
3. 試験対策講座の充実  
4. 就職支援の強化  
5. カレッジスポーツの強化  
【石巻専修大学】  
1. 会計専門職養成の強化

【専修大学】  
1. 被災者支援に係る学費減免特別措置の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。  
2. 被災者支援スカラーシップ  
被災者支援スカラーシップ入学試験の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。

【専修大学】  
1. ボランティア活動の発展強化  
「専修大学ボランティア推進委員会」を設置し、ボランティア活動による社会貢献はもとより、ボランティア活動に係る学生支援を全学的に推進し、学生の社

【専修大学】  
1. キャンパス将来構想の検討  
専修大学キャンパス構想検討会議は、キャンパス整備の課題を短期・中期・長期に仕分けし、計画実現のための財源確保等も含めた構想を検討している。短期的課題である国際交流センター(仮称)、神田5号館、生田第一体育寮などの建替えについては、具体案が固まり次第、順次、整備に着手する。中期・長期的

【専修大学】  
1. 学生募集力の強化  
2. リスク対応体制の強化  
(1) キャンパス・ハラスメントの対策強化  
(2) 学生の健康に係る啓蒙活動  
(3) 学生の海外派遣に係る危機管理の推進  
(4) 危機管理体制の強化

【専修大学】  
1. 被災者支援に係る学費減免特別措置の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。  
2. 被災者支援スカラーシップ  
被災者支援スカラーシップ入学試験の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。

【専修大学】  
1. ボランティア活動の発展強化  
「専修大学ボランティア推進委員会」を設置し、ボランティア活動による社会貢献はもとより、ボランティア活動に係る学生支援を全学的に推進し、学生の社

【専修大学】  
1. キャンパス将来構想の検討  
専修大学キャンパス構想検討会議は、キャンパス整備の課題を短期・中期・長期に仕分けし、計画実現のための財源確保等も含めた構想を検討している。短期的課題である国際交流センター(仮称)、神田5号館、生田第一体育寮などの建替えについては、具体案が固まり次第、順次、整備に着手する。中期・長期的

【専修大学】  
1. 学生募集力の強化  
2. リスク対応体制の強化  
(1) キャンパス・ハラスメントの対策強化  
(2) 学生の健康に係る啓蒙活動  
(3) 学生の海外派遣に係る危機管理の推進  
(4) 危機管理体制の強化

【専修大学】  
1. 被災者支援に係る学費減免特別措置の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。  
2. 被災者支援スカラーシップ  
被災者支援スカラーシップ入学試験の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。

【専修大学】  
1. ボランティア活動の発展強化  
「専修大学ボランティア推進委員会」を設置し、ボランティア活動による社会貢献はもとより、ボランティア活動に係る学生支援を全学的に推進し、学生の社

【専修大学】  
1. キャンパス将来構想の検討  
専修大学キャンパス構想検討会議は、キャンパス整備の課題を短期・中期・長期に仕分けし、計画実現のための財源確保等も含めた構想を検討している。短期的課題である国際交流センター(仮称)、神田5号館、生田第一体育寮などの建替えについては、具体案が固まり次第、順次、整備に着手する。中期・長期的

【専修大学】  
1. 学生募集力の強化  
2. リスク対応体制の強化  
(1) キャンパス・ハラスメントの対策強化  
(2) 学生の健康に係る啓蒙活動  
(3) 学生の海外派遣に係る危機管理の推進  
(4) 危機管理体制の強化

【専修大学】  
1. 被災者支援に係る学費減免特別措置の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。  
2. 被災者支援スカラーシップ  
被災者支援スカラーシップ入学試験の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。

【専修大学】  
1. ボランティア活動の発展強化  
「専修大学ボランティア推進委員会」を設置し、ボランティア活動による社会貢献はもとより、ボランティア活動に係る学生支援を全学的に推進し、学生の社

【専修大学】  
1. キャンパス将来構想の検討  
専修大学キャンパス構想検討会議は、キャンパス整備の課題を短期・中期・長期に仕分けし、計画実現のための財源確保等も含めた構想を検討している。短期的課題である国際交流センター(仮称)、神田5号館、生田第一体育寮などの建替えについては、具体案が固まり次第、順次、整備に着手する。中期・長期的

【専修大学】  
1. 学生募集力の強化  
2. リスク対応体制の強化  
(1) キャンパス・ハラスメントの対策強化  
(2) 学生の健康に係る啓蒙活動  
(3) 学生の海外派遣に係る危機管理の推進  
(4) 危機管理体制の強化

【専修大学】  
1. 被災者支援に係る学費減免特別措置の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。  
2. 被災者支援スカラーシップ  
被災者支援スカラーシップ入学試験の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。

【専修大学】  
1. ボランティア活動の発展強化  
「専修大学ボランティア推進委員会」を設置し、ボランティア活動による社会貢献はもとより、ボランティア活動に係る学生支援を全学的に推進し、学生の社

【専修大学】  
1. キャンパス将来構想の検討  
専修大学キャンパス構想検討会議は、キャンパス整備の課題を短期・中期・長期に仕分けし、計画実現のための財源確保等も含めた構想を検討している。短期的課題である国際交流センター(仮称)、神田5号館、生田第一体育寮などの建替えについては、具体案が固まり次第、順次、整備に着手する。中期・長期的

【専修大学】  
1. 学生募集力の強化  
2. リスク対応体制の強化  
(1) キャンパス・ハラスメントの対策強化  
(2) 学生の健康に係る啓蒙活動  
(3) 学生の海外派遣に係る危機管理の推進  
(4) 危機管理体制の強化

【専修大学】  
1. 被災者支援に係る学費減免特別措置の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。  
2. 被災者支援スカラーシップ  
被災者支援スカラーシップ入学試験の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。

【専修大学】  
1. ボランティア活動の発展強化  
「専修大学ボランティア推進委員会」を設置し、ボランティア活動による社会貢献はもとより、ボランティア活動に係る学生支援を全学的に推進し、学生の社

【専修大学】  
1. キャンパス将来構想の検討  
専修大学キャンパス構想検討会議は、キャンパス整備の課題を短期・中期・長期に仕分けし、計画実現のための財源確保等も含めた構想を検討している。短期的課題である国際交流センター(仮称)、神田5号館、生田第一体育寮などの建替えについては、具体案が固まり次第、順次、整備に着手する。中期・長期的

【専修大学】  
1. 学生募集力の強化  
2. リスク対応体制の強化  
(1) キャンパス・ハラスメントの対策強化  
(2) 学生の健康に係る啓蒙活動  
(3) 学生の海外派遣に係る危機管理の推進  
(4) 危機管理体制の強化

【専修大学】  
1. 被災者支援に係る学費減免特別措置の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。  
2. 被災者支援スカラーシップ  
被災者支援スカラーシップ入学試験の実施  
東日本大震災により甚大な被害に遭われた12年度在学学生(11年度から継続し、12年度までの2年間)及び入学学生(12・13年度の2年間)に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置を講ずる。

【専修大学】  
1. ボランティア活動の発展強化  
「専修大学ボランティア推進委員会」を設置し、ボランティア活動による社会貢献はもとより、ボランティア活動に係る学生支援を全学的に推進し、学生の社

【専修大学】  
1. キャンパス将来構想の検討  
専修大学キャンパス構想検討会議は、キャンパス整備の課題を短期・中期・長期に仕分けし、計画実現のための財源確保等も含めた構想を検討している。短期的課題である国際交流センター(仮称)、神田5号館、生田第一体育寮などの建替えについては、具体案が固まり次第、順次、整備に着手する。中期・長期的

【専修大学】  
1. 学生募集力の強化  
2. リスク対応体制の強化  
(1) キャンパス・ハラスメントの対策強化  
(2) 学生の健康に係る啓蒙活動  
(3) 学生の海外派遣に係る危機管理の推進  
(4) 危機管理体制の強化